

設計契約の記載例

事件番号・係名を記載してください。

平成24年(ワ)第〇〇〇号 〇係

平成24年〇月〇日原告作成
平成24年〇月〇日被告記入
平成24年〇月〇日原告修正

適宜、原告・被告の表示を入れ
替えて使用してください。

作成者・作成年月日を記載してください。
その後、一覧表のやり取りの過程で、加
筆・修正等をした場合は、その履歴(年月
日、加筆・修正者)を記載してください。

瑕疵一覧表

番号	項目	現状				あるべき状態とその根拠				補修費用等					
		施主側(原告)		施工者側(被告)		施主側(原告)		施工者側(被告)		施主側(原告)			施工者側(被告)		
		主張	証拠	主張	証拠	主張	証拠	主張	証拠	主張	金額	証拠	主張	金額	証拠
1	基礎	…の位置において、布基礎のかぶり厚が4cmしかない。	甲1のうち〇頁及び同号証写真No.1	否認する。原告のかぶり厚の測定は、…の点で正確性に欠ける。被告が正しく測定すると、かぶり厚は6cmある。	乙1の〇頁及び写真No.1	基礎にあっては、かぶり厚さは、捨てコンクリートの部分を除いて6cm以上としなければならない(建築基準法施行令79条1項)。		基礎のかぶり厚が6cm以上としなければならないことは認める。被告はそのとおりの設計をしている。		かぶり厚を確保するためには、…する工事を施す必要がある。	3,000,000	補修方法につき、甲3の1頁、補修費用につき、甲3の10頁No.1	補修の必要はない。	0	乙1の〇頁及び写真No.1
2	2階階段	非常灯が設置されていない	甲1のうち〇項及び写真No.3	認める。		階段には非常灯を設置するよう依頼していたのであり、そのような設計をすべきである。		認める。		…製の非常灯を設置する工事を行う。	50,000	甲3の10頁No.3	認める。ただし、原告が指摘する見積のうち、…については高すぎる。せいぜい、2万円をもって足りる。よって、総額は原告主張額より1万円安くなる。	40,000	乙2の〇頁
	合計										3,050,000			40,000	

*1 基礎、外壁、1階玄関、洋室1、和室1、…、2階、屋根というように、検分順序を想定し、主張する瑕疵の部位ごとの順番で記載するようお願いします。

*2 証拠は、号証、具体的な頁、必要に応じて該当箇所のラインマーカーによる特定をお願いします。

*3 あるべき状態とその根拠には、履行を求める状態とその根拠(契約、建築基準法等の法令、住宅金融公庫基準、技術水準等)を具体的に記載してください。